

令和５年度 東京都立桜修館中等教育学校の適性検査問題の出題の基本方針等

1 出題の基本方針

- (1) 小学校等で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
- (2) 与えられた課題の条件を整理し、論理的に筋道を立てて考える力をみる。
- (3) 身近な生活を題材としてその中にある課題を自分の経験や知識で分析し、考えや意見を的確に表現する力をみる。

2 適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱを実施する。

適性検査Ⅰ（４５分）

- (1) 出題の方針
文章の内容を的確に読み取ったり、自分の考えを論理的かつ適切に表現したりする力をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を１問とし、小問３問で構成する。
 - ・ 二つの文章を読み、読み取った内容をまとめたり説明したりする力をみる。
 - ・ 与えられた課題について、読み取ったことを踏まえて自分の考えを４００字以上５００字以内でまとめ、文章で表現する力をみる。

適性検査Ⅱ（４５分）

- (1) 出題の方針
資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を３問とし、小問７問で構成する。
 - ・ 自由研究を題材とし、数量の関係について思考・判断する力、言葉・数・式などを用いて論理的に考え表現する力、問題解決の過程や結果を数理的に考察・処理する力をみる。
 - ・ 産業を題材とし、資料を多面的・多角的に捉え、資料相互の関連性を分析し、考えたことや選択・判断したことを表現する力をみる。
 - ・ 水を題材とし、観察・実験の結果を基に身近なものの仕組みについて考察する力、的確に表現する力をみる。